



① 競技細則

② ローカル・ルール

③ 一目でわかるルール早見表  
(ストローク・プレー)

④ ●凡例

S … ストロークプレー

M … マッチプレー

## 競技細則

### 第1章 総則

**第1条** クラブ競技はすべてJ.G.Aゴルフ規則及びローカル・ルールズに則って行われ、その運営に関する一切の事項は競技委員会がこれを決定する。

**第2条** 第1条のクラブのローカル・ルールズの決定並に変更はその都度競技委員会が行う。

**第3条** 競技日程の決定、変更並に追加はすべて競技委員会が行う。

**第4条** ハンディキャップのクラス変更について  
平成27年6月よりハンディキャップのクラス別は、下記の通りに変更致します。

- ① Aクラス 0～15
- ② Bクラス 16～40

また、クラブ競技は特に定めたものの外は原則として各クラス別に行われるがBクラスについてはハンディキャップは36で打ち切る。2クラス合同で行われる場合のハンディキャップは30で打ち切る。

### 第2章 クラブ競技の参加及び申込み取消し

**第5条** クラブ競技参加申込みは次の通り行う。

- (1) クラブ競技参加申込みの受付は3ヶ月前よりとし、クラブのエントリー係宛申込みのものとする。
- (2) クラブ4大競技その他特に定められた競技（予選を伴う競技）の参加申込みの受付はクラブに備える申込書に記入するものとし、1週間前の正午をもって締切るものとする。従って、理由の如何にかかわらず締切時以後の申込みは一切認めない。

**第6条** クラブ競技に参加の申込みをした後取消する

場合は7日前までにその旨クラブのエントリー係へ連絡しなければならない。上記による取消申込みをしないときはキャンセル料を徴収される。

### 第3章 クラブ競技参加資格

第7条 クラブ会員であってハンディキャップを有する者に限る。

※他コースがホームコースの場合、そのハンディキャップが適正かどうか協議する場合がある。

### 第4章 クラブ競技の参加及び申込み取消し

第8条 クラブ競技は特に定められたものの外はすべてハンディキャップのもとに行われる。マッチプレーに於けるハンディキャップの差及びアゲンストパー、ポイントトニー競技のハンディキャップは4分の3で行うこととする。その他の競技については必要ある場合は、その都度委員会が告示する。

第9条 ストローク競技は通常3人又は4人の組にて行い、その組のハンディキャップの合計が95を超えてはならない。但し、競技委員会が認めた場合はその限りではない。

第10条 他のクラブでハンディキャップに変更があった場合は速やかにハンディキャップ委員会に報告し新ハンディキャップの決定を受けなければならない。競技スタートまでにこの手続を怠ったときは失格する。

第11条 クラブ競技参加者は参加しない者又は参加資格のない者を同伴してプレーすることはできない。但し、競技委員が認めた場合はその限りでない。

第12条 クラブ競技における女子プレーヤーの使用するティーマークは、定められたティーマークを使用するものとする。

**第13条** 競技参加者は競技終了後（18ホールズ以上の競技の場合は18ホールズ終了後）直ちに同伴競技者（マーカー）がアテストした正規のカードを委員会の定めた場所に提出しなければならない。理由なく遅滞せるカードは正規のものと認めない。

## 第5章 クラブ競技の失格

**第14条** 申込取消の連絡なしに無断で欠席をした場合には、次回の競技に入賞資格を認めない。

## 第6章 クラブ競技の入賞資格

**第15条** クラブ競技の入賞資格は次の通りとする。

- (1) 競技の前日より6ヶ月以内にクラブ競技に参加し正規のスコアカード1枚以上提出した者。
- (2) 前記期間中にクラブ競技に参加したが止む得ずN.R.して、その旨競技委員に申し出て承認された者。
- (3) クラブ4大競技の中で、すべてのスクラッチ競技については、前記の(1)(2)に関係なく入賞資格を認めるが、その参加資格については別に定める。

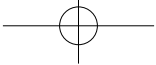
## 第7章 入賞資格の順位決定

**第16条** クラブ競技において同成績者が2名以上ある場合はハンディ上位、年齢上位の順位で決定する。

## 第8章 クラブ4大競技及び特定競技の規定

**第17条** 4大競技その他特に定められた競技は次の通り行う。

- (1) オーナーズカップ競技・オーナーズセニアカップ競技・理事長杯・キャプテン杯



競技の参加資格は、ハンディキャップ15までとする。ただしハンディキャップは、12で打ち切る。

- (2) クラブ選手権競技の参加資格はハンディキャップ10までとする。但しセニア選手権競技についてはハンディキャップ21までとし年齢が当該年度中満60才以上でなければならない。
- (3) グランドセニア選手権競技の参加資格はハンディキャップ制限無しのスクラッチ競技とし、年齢が競技当日満70才以上でなければならない。
- (4) 在学中の学生については4大競技及びグランドマンズリーカップ・クイーンカップグランドマンズリーの出場は全てハンディキャップをスクラッチとして認める。但しクラブ選手権競技の出場は認めない。
- (5) 競技参加の締切及び組合せのドローについては本細則第5条により行う。尚、決定した組合せは直ちに各競技者に通知される。
- (6) 4大競技及び特定競技（本細則第17条によるスクラッチ競技を除く）に限りドローを行う当日（申込締切日）に入賞資格のない者はその競技に参加できない。従って、たとえ正規の申込受付があっても競技委員会はその者を除外してドローを行う。
- (7) I 理事長杯、キャプテン杯及び特定競技の方法は第1次予選、第2次予選及び決勝とに分けて行う。第1次予選通過人数は競技委員によって決定し、第2次予選

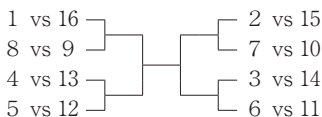
は16名に決勝出場の資格が与えられる。  
決勝は27Hストロークプレーとする。

(但し、オーナーズカップ、オーナーズセニアカップの決勝は、27Hハンディキャップ制マッチプレーとする。)

II クラブ選手権競技の競技方法は予選を27Hストロークプレーとし、成績上位16名にクラブ選手権競技1回戦(18HM)の出場資格が与えられ、第16位が2名以上ある場合は1ホール1ホールのプレーオフにて16位を決定する。

1回戦、2回戦は18Hマッチプレーとし、準決勝、決勝は27Hマッチプレーとする。マッチプレーにおいてオールスクエアに終わったときは、いずれかのサイドが1ホール勝つまで1ホール1ホールプレーオフを行う。

組合せについては下記の通りとする。



III セニア選手権競技の競技方法は予選を18Hストロークプレーとし、成績上位16名に1回戦(18HM)の出場資格が与えられ、第16位が2名以上ある場合は1ホール1ホールのプレーオフにて16位を決定する。

1回戦、準決勝、決勝は18Hマッチプレーとする。

マッチプレーにおいてオールスクエア

に終わったときは、いずれかのサイドが1ホール勝つまで1ホール1ホールのプレーオフを行う。

組合せについては、クラブ選手権と同様とする。

IVグランドセニア選手権競技の競技方法は予選を18Hストロークプレーとし、成績上位8名に1回戦(18HM)の出場資格が与えられ、第8位が2名以上ある場合は1ホール1ホールのプレーオフにて8位を決定する。

1回戦、準決勝、決勝は18Hマッチプレーとする。

マッチプレーにおいてオールスクエアに終わったときは、いずれかのサイドが1ホール勝つまで1ホール1ホールのプレーオフを行う。

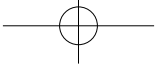
組合せについては、下記の通りとする。



## 第9章 競技の不成立

**第18条** クラブ競技においてその参加者が15名に満たないとき(但し、女性の競技は8名とする)は原則としてその競技は取り消される。又、特別の事情ありとして競技委員会が認めた場合はその限りでない。

**第19条** クラブ競技において当日コースの状態、プレーの状況(気象、天災、日没等及びその他)により参加者全員又はその一部が競技を中断した場



合、参加者半数以上がラウンドを終了している時は、その競技は、ラウンド終了者で競技成立とする。

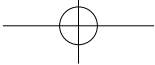
## 第10章 付則

**第20条** 本競技細則の追則、改定、抹消等競技委員会の決定事項の適用はクラブハウス内外に掲示した日より実施する。

(平成27年6月1日改定)







## グロワールゴルフ倶楽部ローカル・ルール

1. O・Bの境界は白杭、ペナルティエリアは黄杭又は、赤杭、修理地は青杭又は、白線をもって標示する。
2. 現にプレーするホールの白杭を結ぶ線を越えて他の区域に止まった球はO・Bとする。
3. 第1打がO・Bの場合は、特設ティーが設けられている時は、特設ティーからプレーイング4でプレーしなければならない。(ショートホールは、プレーイング3)  
※但し、特に定めた競技にはこれを適用しない。(四大競技等)
4. ペナルティエリアの区域に止まった球は、特設箇所が設けられている時は、特設箇所から1罰打を加えプレーしなければならない。  
※但し、特に定めた競技にはこれを適用しない。(四大競技等)
5. 排水溝、集水枡、及びその蓋、樹木の支柱、階段、カート道、芝保護用マット、ライト設備及び管理作業道路は動かさない障害物とする。
6. 樹木保護の為巻施設(巻き網など)は樹木の一部と見なす。但し樹木巻き物にはさまった球は、罰なしに、その真下の地点から1クラブレンジス以内で、かつホールに近づかない所にドロップすることが出来る。取り出した球は、拭くことが出来る。
7. ホールアウトしたグリーンで、又はこれを目標としての練習を禁止する。
8. ゴルフカート及びそれに乗っているすべてのものは、局外者と見なす。
9. 青杭で標示してある区域はプレー禁止の修理地とする。
10. 上記以外は、J.G.A.規則による。  
(注意) ローカル・ルールの変更はその都度掲示する。

競技委員長



グロワールゴルフ倶楽部 月例競技ローカル・ルール

1. 第1打がO・Bの場合は、特設ティーが設けられている時は、特設ティーからプレーイング4でプレーしなければならない。
2. ペナルティエリアの区域に止まった球は、特設箇所が設けられている時は、特設箇所から1罰打を加えプレーしなければならない。
3. スルーザグリーンにおいて、明らかに雨による陥没（バンカーも含む）は、カジュアルウォーター扱いとする。  
(規則25-1) 注意 球を拾い上げる前に必ず同伴競技者の確認を受けること。
4. 規則25-2(地面にくい込んでいる球)はスルーザグリーン全域に適用する。
5. ホールとホールの間では、プレーヤーは、プレーを終了したばかりのホールのグリーン上やその近くでは、どのような練習ストロークも行ってはならない。
6. 指定練習場以外の練習を禁止する。
7. 7月～11月はすべてのスルーザグリーンにおいてノータッチとする。
8. 上記以外は、J.G.A.規則による。  
(注) ローカル・ルールの変更はその都度掲示する。

競技委員長

一目で分かるルール早見表〈ストローク・プレー〉

ルール	罰	付加	次 打					その他
			改め	元打	元あ	球の止	2クラ	
アクション	打なし	1 2	めつた	あつた	の止ま	ドロッ	レ 続	
ティーから落ちかけた球を打った	●						●	
局外者によって動かされた	●		●				リブ	
同伴競技者が動かした	●		●				リブ	
止まっている球が風によって動いた	●						●	
ルースインペディメントを除去しようとするとき		●					ルース	
球を探しながら自分の球を偶然動かした	●		●				原則	

球を動かす	いつものクセでイン・プレーの球のよいラインに移して打った	●								リブレースしないと2罰打に
	自分のキャプティが誤って球を拾い上げた	●								リブレースしないと2罰打に
ジェネラルエリア	球に泥がついたので拭いた	●								グリーン上と救済処置の際は良い
	メタル・ウツドの打球面に異質のものをはめ込んだクラブを使った									競技失格
	プレー中にロフトの調節が出来るようになってくるクラブを調整した									競技失格
	競技当日、競技の行われるコースを前もってプレーした									競技失格
	1ホール中に練習ストロークをした		●							
ジェネラルエリア	ジェネラルエリアで打った					●				区域外の打数は計算しないで打ち直し
ジェネラルエリア	レギュラーティーからの競技なのに、あるホールだけバックティーから打った					●				指定のティー以外は全て区域外
ジェネラルエリア	ティーショットをミス。球がティー・マークに接して止まった	●								ティー・マークは指定のもの。しかしティー・ショットを終えた後には“動かせる障害物”となるので引き抜いて打ってよい

ルール	罰	付加	次打					その他		
			改め	元打	元あ	球の止	2クラブ・レンジス		ブ	
アクション	なし	1	2	正球	ところ	ところ	ま	つ	続	行
プレーの打順を誤った	●							●		すべてのショットに適用
15本以上のクラブを持って、プレーをした		●						●		1ホール2打付加。1ラウンド4打付加が限度
14本未満でプレーしていたが途中で14本まで補充した	●									ただし、コースでプレーしている人から借りたら失格
誤って同伴競技者のクラブを使ってプレーをした		●								
プレーの方法のアドバイスを求めたり与えたりした		●								自分のキャディならよい
方向を決めるための目印を置いてショットした		●								ただし、ショットする前に取り除けばペナルティなし
使用クラブを聞いた		●								自分のキャディならよい

球を打つ前後の問題  
ジェネラルエリア

スタンスをとると、足が穴に入るので板切れで穴をふさいでスタンスを取った																			故意にスタンスの場所を作るのは反則。不必要にスタンスやスウイングをしても救済をうけられぬ
傘をさしてもったり物理的な援助をうけた																			
スウイングの邪魔になるからと木の枝を折った																			
OB地帯にある小屋が、スウイングを妨げ、クラブが振れない																			人口の建造物はコース内にあれば障害物の救済を得られるが、OB地帯のものは関係なし
球の方向を足で踏みつけて打ちやすくした																			ティー・ショットでは許される
動いている球を打った																			水中の場合は無罰
バンカーならしを取り除こうとした球が動かせない障害物に接してしまった																			リブレース
球が動かせない障害物に接してしまった																			スウイング等の妨げにならぬ地点を決め、そこから1クラブ以内にドロップ
コース内の簡易舗装の道路上に球が止まった																			コース内の道路の表面は原則的に障害物だから同上の処置
1ホール中に球が傷ついたので誰にもことわらず取り替えた																			

ジェネラルエリアの前後の問題







ルール	罰	付加	次打					その他	
			改め	元打	元あ	球の止	2クラブ		にドロ
アクション	なし	1 2	て	った	った	ま	ッ	1 続	
第1打がOBくさいので、暫定球を打ったが最初の球の半分も飛ばなかったのもうた打った	●							●	最初の球があると思われる地域に到達する迄は、続けて暫定球をプレーできる
OBらしいというので何発も暫定球を打ったOBギリギリでセーフの球を発見。 しかし何発目だがわからない								●	何発目の球がセーフか判明しなければ、最後の球とすること。それ以前に打ったのは全てOBとして処理
球を打つ前後の問題 ジェネラルエリア									最初の球のある地域を越えて暫定球をプレーすると、原球は放棄となるからプレーできない。但し、初球はOBと同じ計算となる。違反は競技失格となる
間違った規則でプレーした		●							ホールアウトして気づいた時は次のティーンでプレーする前、最後のホールはグリーンを離れる前に訂正しないと失格



ペナルティエリアでの処理	ペナルティエリアへ打ち込んだ	罰	付加	次打					その他
				改め	元打ったところ	元あったところ	球の止まってる	2クラブ・レンジス	
アクション		なし	1	2					
グリーン手前にあるペナルティエリアに打ち込んだ		●							球が最後に水域の境界を通過した時点とホールとを結ぶ線上後方にドロップ（距離に制限は無い）
グリーン手前の池は越えたが向こう側の斜面に当たって池の中に入った		●							（処置は前項と同じ）池を越えた向こう側からプレーすると、重大な反則で失格の恐れも…
林の向こうに池。その林越えに当たたら、どうも池に入ったらしい		●		●					ハザードに入ったかどうかは、確実な立証が必要。でなければ紛失球とする
ペナルティエリアへ打ち込んだ		●							3種の処理法あり、いずれかを採用すること ①その球をプレーした所に戻って打ち直す ②球が最後の水域の境界を通過した地点とホールを結ぶ線上との後方にドロップ③水域の境界を球が通過した地点とそのハザードの対岸にある等距離の地点から2クラブレンジス内にドロップ

ベ ナ ル テ ィ ・ エ リ ア で の 処 理	ルース・インペディメントを取除いた	●								小石、木の葉など
	プレーする前に、水面にクラブがふれた	●								
	バンカー内の球を打とうと、バンカーに入りかけたら、クラブを砂の上に落とした	●							●	故意でなければ、砂のテストとはみなさない
	バンカーの砂の中に球がもぐって見えなくなった	●								拾い上げて確認してよい 但し、リブレースで元の状態に戻すこと
	バンカー内で他人のショットで、次に打つ自分のライが変わった	●								前と同様のライを復元してブレース
	バンカー・ショットがOB。砂ならしした後でそこへ別な球をドロップした	●								ライの改善とはみなさない
	バンカー内でアンプレアブルと宣言、どこでドロップ？	●	●							同じバンカー内で後方線上なら1罰打 バンカー外後方線上なら2罰打
	球を見つめるために砂や木の葉に触れた	●								球の一部が見える程度ならよい
	同伴競技者の球を打ってしまった		●					●		

